

5 用語集

用 語	意 味
アクセス	接近。目的地までの交通手段。
オープンスペース	都市や敷地内で、建物の建っていない土地。空地。
オンデマンドバス	路線（ルート）とスケジュール（ダイヤ）を固定した路線バスに対し、利用者が「いつ、どこから、どこへ」などの要望（デマンド）をあらかじめ電話や情報端末機、コンピュータなどでバス運行者に予約し、このデマンドに応じて運行されるバス。高齢化社会や地方の過疎化問題、環境・エネルギー問題の観点から注目されているバスの運行形式。
合併処理浄化槽	各家庭に取り付ける污水处理装置のことで、トイレの污水だけでなく風呂や台所の污水（生活雑排水）も合わせて浄化するものをいう。
基盤施設・都市基盤施設	道路、公園、上下水道など、日常生活を支える都市施設。
狭あい道路	幅員が狭い道路のこと。
区域区分	都市計画区域内における市街化区域（すでに市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先 的かつ計画的に市街化を図るべき区域）と市街化調整区域（市街化を抑制すべき区域）との区分のこと。
高規格幹線道路	自動車の高速交通の確保を図る道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路。
公共下水道	市街地における污水や雨水を排除し、又は処理するために地方公共団体が管理する下水道。
交通結節機能	駅前広場や駐車場、駐輪場などのように、鉄道、バス、自転車などの異種の交通手段間をつなぐ機能。
コミュニティ	共同体意識を持って生活を営む一定の地域やその人々の集団。地縁などによる生活上のつながりだけでなく、趣味や活動など、同じテーマにより行動をともにする人々や集まりも含まれる。
コンパクト	都市の無秩序な拡散（スプロール化）を防止するとともに、中心市街地に計画的に都市機能を集積させ、環境負荷を低減し、また高齢者等にも暮らしやすい活力ある都市を創出する考え方。
市街化区域	市街地として積極的に開発・整備を行っていく区域のことで、既に市街地を形成している区域やおおむね 10 年以内に計画的に市街化を図るべき区域。
循環型社会	大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして、廃棄より再利用・再生利用を第一に考え、新たな資源の使用を出来るだけ抑えることや、自然生態系に戻す排出物の量を最小限とし、環境を攪乱しないものとする社会。

用語	意味
親水空間	水辺に近づける、水に触れられるなど、水への親しみが感じられる空間のこと。
線引き	区域区分を行うこと。
地域森林計画対象民有林	国が定める「全国森林計画」に即し、知事が5年ごとに10年を一期として、対象とする民有林の森林の区域、森林の整備の目標などについて定める計画を「地域森林計画」といい、その計画対象となる民有林をいう。
地区計画	都市計画法と建築基準法に基づく制度で、良好な環境の地区の形成を図るため、建築物の形態や用途、公共施設の配置などを詳細に定める計画。
低炭素社会	地球温暖化の主因とされる温室効果ガスの1つ、二酸化炭素の最終的な排出量が少ない産業・生活システムを構築した社会。
都市機能	都市での様々な活動を支える機能のことで、商業、業務、広域行政サービス、産業、アミューズメント、教育文化、福祉医療など。
都市計画基礎調査	都市計画法第6条に基づき行う基礎調査のこと。概ね5年ごとに、人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量等について、現況及び将来の見通しを調査する。
都市計画区域	都市計画法その他の関係法令の適用を受けるべき土地の区域。具体的には、市町村の中心の市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などの現況・推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備、開発、保全する必要がある区域。
都市計画法	都市計画の実施を図るための法律。都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画の内容及びその決定手続き、都市計画制限、都市計画事業、その他都市計画に関して必要な事項を定めている。
都市施設	都市で生活するために必要な道路、公園、下水道などのことで、将来のまちづくりを考えて、都市計画にその位置や規模、構造などを定める。
土地区画整理事業	土地区画整理法に基づき、都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るために行われる土地の区画形質の変更や公共施設の新設又は変更に関する事業。
ニーズ	必要。要求。
農業振興地域農用地	町が優良農地の確保・保全のため、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業振興地域整備計画を策定し、その中で農業振興を図る地域として定めた土地。
パーク&ライド サイクル&ライド パーク&バスライド	通勤通学時に、自宅から自家用車や自転車以最寄りの駅またはバス停まで行き、そこから電車やバスなどの公共交通機関に乗り換えて目的地に向かう交通のシステムのこと。 自動車の交通量が減少するため、渋滞の緩和だけではなく、大気汚染の軽減、二酸化炭素排出量の削減といった効果も期待されている。 (パーク：駐車、サイクル：自転車、ライド：乗り物に乗ること)

用 語	意 味
バリアフリー	障害者を含む高齢者等の社会生活弱者が、日常的な生活をおくる上で利用しやすいように、物理的な障害や精神的な障壁を取り除くこと。
ポケットパーク	都市生活の中での潤いや休憩のために整備される市街地の空地や、建物前の小広場等を利用して設けられる比較的小規模な空間のこと。
モータリゼーション	自動車が大衆に広く普及し、生活必需品化する現象のこと。車社会化。
ユニバーサルデザイン	すべての人々にとって、できる限り利用可能であるように、製品、建物、環境をデザインすること。 バリアフリーが主に障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で用いられるのに対し、ユニバーサルデザインは、設計段階からすべての人が共通して利用できるようにデザインする考え方で用いられる。
用途地域	都市の目指すべき市街地像に応じて住宅地、商業地、工業地などの用途別に定める 12 種類の地域のこと。建築物の用途や容積、形態等について必要な規制を行い、現況の良好な環境を保全しつつ、今後予想される産業の発展や都市化の進展に対応することを目的としている。